

「アジア金型産業フォーラム」が発足 アジアに展開する金型産業を支援するため、NPO 活動を開始

特定非営利法人「アジア金型産業フォーラム」(略称：NPO・ADMF)(東京都文京区)が発足した。理事長は黒田精工(株)名誉会長の黒田彰一氏。

日本の金型産業は現在、自動車業界、電気産業界の海外移転や、アジア諸国の技術力が向上するなかで、仕事量の減少や価格削減などの諸問題に直面している。ADMFは、外部環境の変化に対処しきれない中小金型産業をいかにしたら支援できるかとの発想から議論を重ね、日本とアジア地域の金型産業が連携するためのハブとなるべく設立された。

またアジア地域では技能者が不足していることを懸念し、金型産業での経験が豊富な退職技能者を集め、教育システムを確立することも目的としている。教育に携わる金型産業OBは適宜ボランティア的な立場で活用される。

ADMFは既存の縦割り機能では調整に時間がかかるプログラム課題を、組織横断的な機能により企画立案から実践までをプロジェクトとして行う。当面の事業計画として以下の項目を上げている。

1. アジアへの金型技術移転教育プロジェクト

現在、(財)海外技術者研修協会(AOTS)あるいは(独)国際協力機構(JICA)を通じて、個人的つながりを基に実施してきているアジアへの金型技術移転プログラムを組織的に実施し、アジア圏における金型産業人ネットワークを確立して、日系企業も含むアジア金型企業を支援するプロジェクトを立案、推進する。

2. 金型マイスターバンク・プロジェクト

高齢、リタイア技能者の地位向上を図るとともに、若年技能者への技術継承、金型づくりの国際分業などにその潜在能力を活かすプログラムを企画中である。「金型づくりは面白い」を合言葉に、プロジェクトを実施していく中で人の輪を構築していく。

3. 金型関連用語・翻訳システムプロジェクト

海外からの発注、各種技術情報の交換、効率よいメンテナンス実施など、日本語以外での技術情報を受理、発信する機会が多い。インドなど先進英語圏の協力も視野に、金型専門用語の英語への適切な翻訳、金型技術書の自動翻訳補助など、各メーカーが人手をかけずに効率よく作業を実施で

きる環境機能を開発する計画である。

4. 金型 MOT プログラム・プロジェクト

これからの金型メーカーが必要とする金型技術力開発とビジネスモデル展開に関する社会人教育プログラムを工学系大学院と協力して開発し、共同で教育プログラムを運用する。特にインターネットを利用した遠隔地教育プログラムなども、アジア圏の大学とも共同して開発、運用するプロジェクトを進める計画である。

5. 金型づくり人材交流プロジェクト

金型産業に関連する情報と関連人材データベースを一括運用し、各種セミナー・シンポジウムなどの運用を図る。特に現場で働く方々を募って、日頃考えている課題を気軽に話し合う場を設定し、新しい課題を提言する。

役員構成は以下のとおり(敬称略)。

理事長：黒田彰一(黒田精工名誉会長)

副理事長：橋本久義(政策研究大学院大学教授)

専務理事：細川敏宏(e-金型研究所所長)

理事：牧野二郎(牧野フライス製作所社長)

相澤龍彦(トロント大学教授)

横田悦二郎(黒田精工取締役)

北村弘志(ウイスマ・インターナショナル社長)

堀 信夫(山城精機製作所社長)

山本敏郎(日本ユニシス・エクセリューション社長)

川下英二(日立造船情報システム取締役)

井戸 潔(アイ・ディー・オー・デジタル出版社長)

監事：伊藤國吉(セキコーポレーション取締役)

ADMFの連絡先は以下のとおり。

東京：東京都文京区本郷4-12-16

TEL(090)4960-1496(井戸)

大阪：大阪市北区曽根崎新地2-1-23

TEL(090)5044-3809(細川)



4月25日に行われた「NPO・ADMF」発足発表会の模様